

パーツブランドSTRIKERを展開するカラーズインターナショナル。カスタムバイク製作も手がける同社が作り上げた、Z900RSのコンプリートカスタム「SZ」を原田哲也さんがライド。その目指すところを探ってみた。

取材協力/ストライカーワークス TEL045-949-1347
<https://www.striker-works.com>

目指したのは ストリート“最適”

Build by
STRIKER WORKS



ストライカーを率いる新辰朗さんは元全日本ライダー。現在もZ900RSでレースに参戦、ノウハウをパーツ開発に活用

Z神話の現在地



カスタムコンプリート「SZ」は、パーツの取り付け工賃がサービスとなる価格設定でリーズナブル。また、単純なパーツ装着ではなく、そのセットアップまでがメニューに含まれる



カ

スタムファンから絶大な支持を得ているストライカー。カスタムショップ「ストライカーワークス」では、カスタムマシン製作も手がけ、このZ900RSはストライカーワークスのコンプリートカスタム「SZ」シリーズの一台。ストライカーのパーツを中心に、マシンの隅々にまで手が加えられているのだが、原田さんが興味を示したのはポジション。ストライカーのセパレートハンドルキットとバックステッ

プが装着されているのだが、特にハンドルのポジション設定を高く評価。「セパレートハンドルですけど、極端な前傾ポジションではない。街乗りも普通に楽しめますし、ワインディングメインのツーリングに、すごくマッチしている。適度に低く、幅や絞り角も適度。ノーマルよりスポーツライディング向きで、その上で汎用性が確保されています。汎用性」とも表れています。基本的にソフト

だから路面からのインフォメーションが豊富で、一般道にちょうどいい。足まわりのカスタマイズというところですが、硬ければ良いというものではありません。もちろんサーキットを攻めるなら硬めていく方向もあるでしょうが、このセッティングのままでも気持ち良くサーキットを走れます。ですが、やっぱりターゲットはストリート。一般ユーザーがストリートを楽しむために最適化されたマシンですね」



1: マフラーはストライカーの看板パーツ。STREET CONCEPTチタンフルエキゾーストJMCA 4-1 STDを装着 2: ステップは Sports Touring Concept ST EP KIT 4ポジション。基本はブラックアルマイト仕上げで、このシルバーアルマイト仕様はスポット販売されるレアモデル 3: セパレートハンドルはG-STRIKERセパレートハンドルキット。Z900RS用は4ポジション可変、Z900RS-CAFE用は1ポジション固定 4: 手曲げチタン製のグラブバーとシートレザは、ストライカーワークスオリジナル 5: スイングアームはG-STRIKER、インナーリアフェンダーはSTRIKER エアロデザイン 6: フェンダーレスキットもSTRIKER製 7: 前後サスペンションユニットは、ノーマルをベースにスクーデリアオムラでモディファイ。アンダーブラケットはG-STRIKER